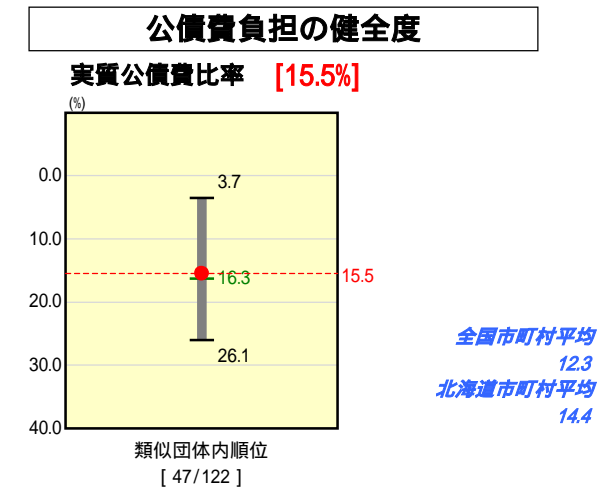
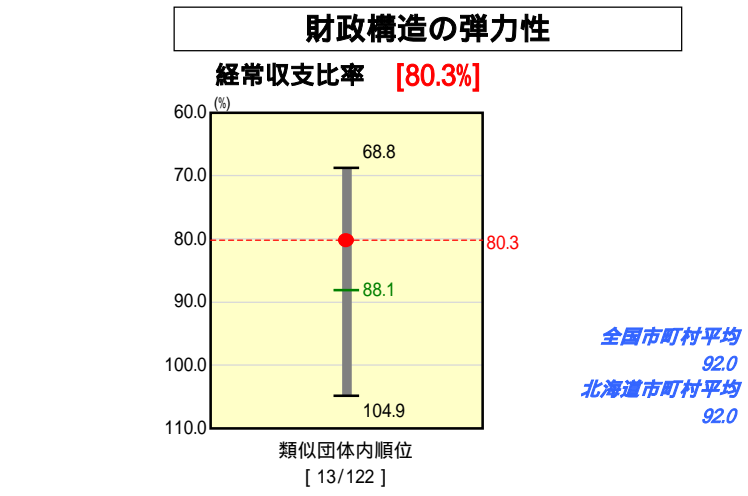
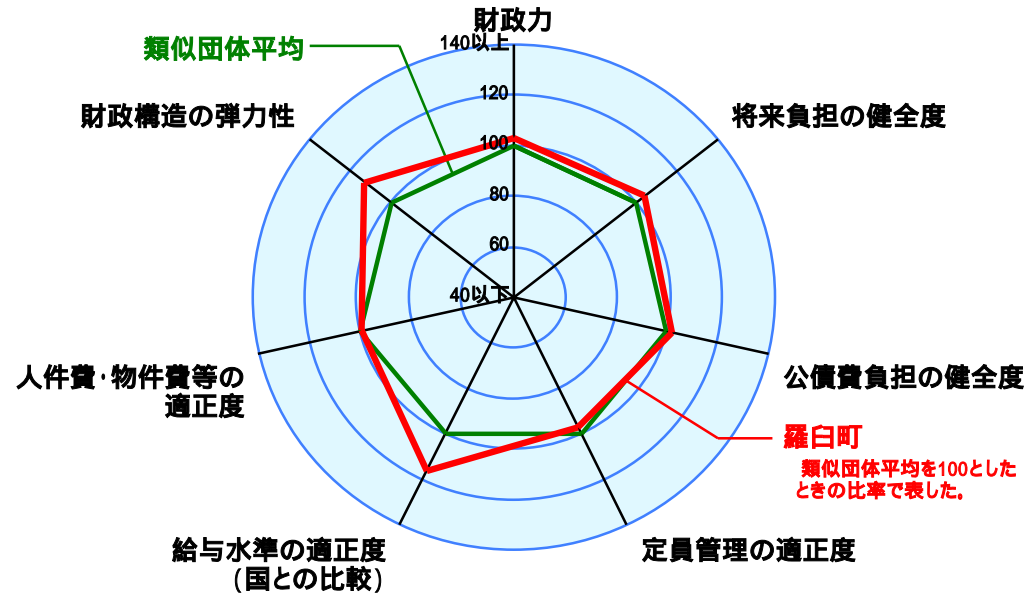
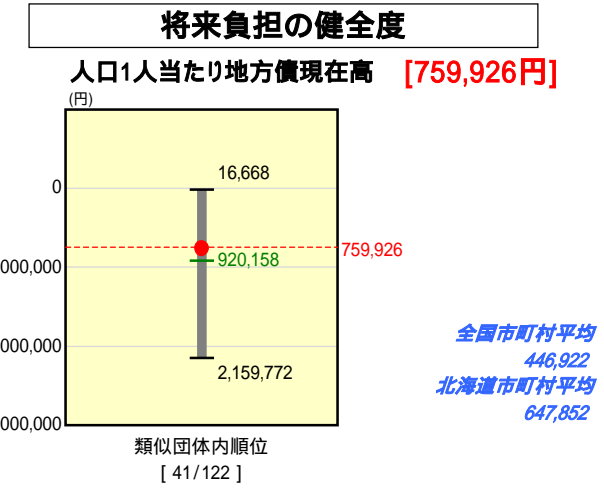
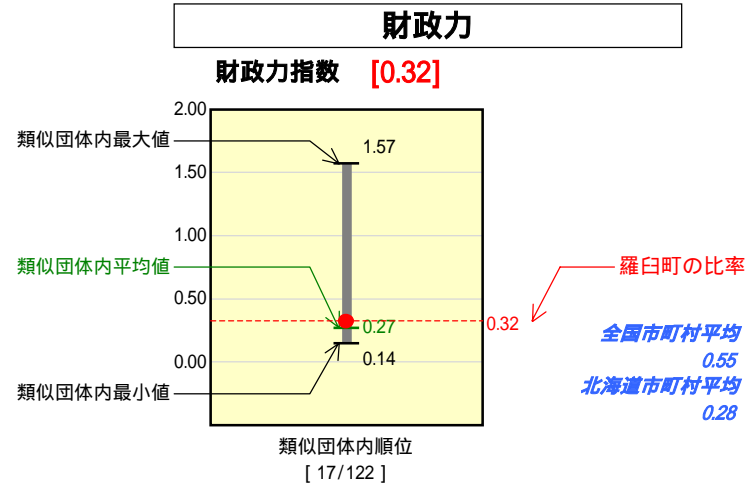


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

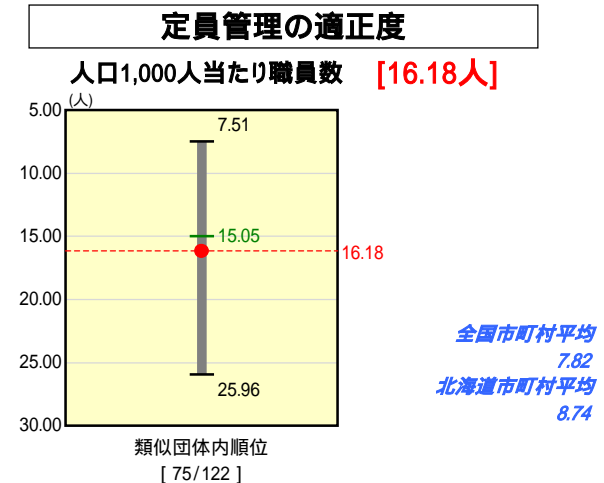
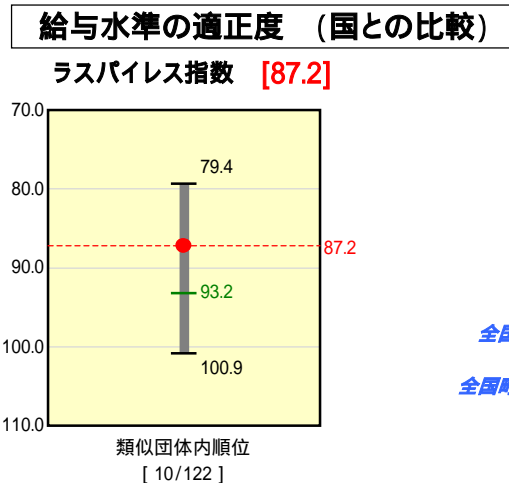
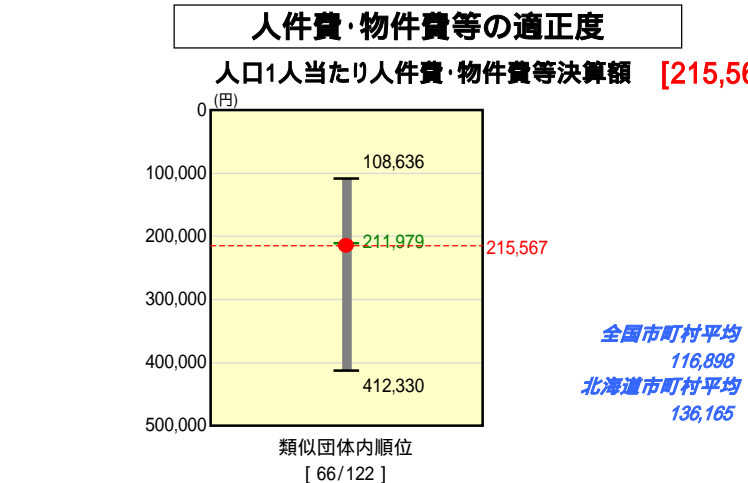
北海道 羅臼町

人口	6,244人	(H20.3.31現在)
面積	397.87	km ²
歳入総額	3,668,703	千円
歳出総額	3,548,611	千円
実質収支	120,092	千円



給与水準の適正度 (国との比較)

類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスバイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数: 近年の好漁や滞納整理の強化による地方税の収増(76,092千円増)と、歳出における人件費の削減(13,785)、投資的経費の抑制(358,144千円)により0.32と昨年度の0.31に比べ0.01ポイント上回っている。今後も更なる歳出の抑制と財源確保に取り組む。

経常収支比率: 平成17年度に策定された「羅臼町自立プラン」に基づき人件費の削減(13,785千円)、事務事業の見直しによる経常経費削減(69,665千円)を図ったことにより80.3%と類似団体平均を下回っている。今後も「羅臼町自立プラン」に基づき、経費の抑制及び財源の確保に努める。

ラスバイレス指数: 平成17年度より行っている給与の独自削減等(当年度本俸10%削減)の実施により、昨年度の87.2と同水準を保っている。今後も「羅臼町自立プラン」に基づき給与の適正化に努める。

実質公債費比率: 過去からの起債抑制により15.5%と類似団体平均を下回っている。今後もこの水準を保つため起債の抑制に努める。

人口1人当たり地方債現在高: 過去からの起債抑制により759,926円と類似団体平均を下回っている。今後もこの水準を保つため起債の抑制に努める。

人口1,000人当たり職員数: 現在は平成17年度に策定した定数管理の目標数値(110人)を下回っている状況であるにもかかわらず、16.18人と類似団体平均を上回っている状況である。しかしながら、類似団体の中でも更に産業構造や都市から離れた地理的条件にある団体の比較では、必ずしも多い職員数ではなく、他の諸々の条件を参考に適正な職員数の管理に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 類似団体平均に比べ高くなっているのは、主に人件費が要因となっている。しかしながら、類似団体の中でも更に産業構造や都市から離れた地理的条件にある団体との比較では突出している物件費ではなく、今後は他の諸々の条件を参考に抑制に努める。